

# L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝語)】

2012年6月号



イベント盛りだくさんで関係者も嬉しい  
悲鳴をあげています！夏に向けて  
ハンドまっしぐら！



1

## 第33回岩手県社会人リーグが開幕！今年は女子も☆

平成24年度第33回岩手県社会人ハンドボールリーグがついに開幕しました！初日となる5月27日、花巻市総合体育館には多くの社会人ハンドボーラーが集結し、熱戦を展開しました。なんと今回から初めて女子リーグも平行して開催されることになり、これまでは岩手県民体や県総合などに試合が限られていた一般女子にとって、試合回数が増える絶好のチャンスとなりました。女子リーグには、富士大Aチーム、富士大Bチーム、盛桜クラブ、白梅三英英会、萩江クラブ、岩手桐花クラブ、ギャロップLC、不來方クラブ、そして花巻クラブの計9チームが参戦します。このリーグ戦を通じて、一般女子チームの交流を深めるとともに、岩手県成年女子のレベルアップにつながることを期待しています！また、男子は1部～3部まで合計26チームが参戦しており、女子を合わせるとなんと35チーム！これほどの規模で社会人の試合を行っている県は他にないのではないでしょうか。このリーグ戦は、いかにハンドボールが岩手県に根付いているのかを物語っていると思います。県社会人リーグは9月まで行われますので、各選手とも怪我のないよう最後まで頑張ってほしいものです。

2

## インターハイの切符をかけて！燃えよ高校生！！



6月1日～3日まで、インターハイの出場権をかけて県内の高校生ハンドボーラーが激突しました！高校に入学してから実質2年間、これまでの練習の成果を発揮すべく、今大会で引退しうる高校3年生にとっては最後の正念場！花巻市総合体育館を会場に、熱気あふれる戦いが展開されました。

3月の全国高校選抜大会で決勝の舞台に立った男子・不來方高校は、夏のインターハイでの優勝を目指し、今大会をどのように戦うのか。そして女子・不來方高校は全国ベスト4の壁を破るべく、大沢新監督のもとでどのような試合を展開するのか。そして、不來方の独走を許すまいと、頂点の座を狙う他の高校はどのような勝負を挑んでくるのか、非常に注目されました。

今大会の男子は、強豪同士が序盤からぶつかり合う組み合わせでした。初日の第2回戦から、盛岡四高は不來方高と対戦、また逆ブロックでは、春の盛岡市民大会で不來方高に競い勝った盛岡南が、こちらも全国高校選抜大会に出場した盛岡一高と対戦しました。盛岡一高は1・2年生を中心としたメンバーで準決勝に駒を進めますが、ここ数年着実に力を上げてきた盛岡中央が準決勝では終始リードを保ち、盛岡一高を破って史上初の決勝進出を決めます。

小川至門新監督のもとで練習を積んできた花巻南高は、順当に勝ちベスト4入りします。準決勝では不來方に点差を広げられますが、次の大会に向け確かな手応えを感じることが出来たのではないかと思います。迎えた決勝戦、主力選手を数名怪我で欠きながらも厚い選手層を誇る不來方高は、右サイドで出場した内野俊選手(リトルハンド→松園中)が10得点の活躍。遠藤拓也GKが全国選抜大会を彷彿と





させる詰め早いキープを披露すると、そこから中花仁選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)や庄司直志選手が鋭い速攻を決め、序盤の接戦を抜け出しました。対する盛岡中央も、互角の幕開けから小原遼大選手の技ありの7Mスローや田村一輝選手のアンダーハンドシュートなどで食らいつきます。また、高橋朋暉 GK(花巻クラブジュニア→花巻北中)が、元チームメイトの齊藤凌選手の速攻を止めるなど意地を見せますが、徐々に点差をつけられ、39-24 でゲームセット。不来方高は 15 年連続優勝の快挙を成し遂げ、夏のインターハイ出場権をゲットしました。なお、齊藤凌選手、中花仁選手、高橋風太 GK(花巻南)が優秀選手に、そして古館禎樹選手(花巻クラブジュニア OB)が特別敢闘賞に選ばれました。

さて、一方の女子は接戦の連続でした。2 回戦では、盛岡三高が盛岡白百合を 13-12 で破り、また盛岡二高が花巻北高を 15-14 で下し、そしてさらに盛岡三高が盛岡二高との準決勝を 15-14 で制し、こちらも初となる決勝進出を



果たしました。逆ブロックでは、守って速攻のパターンから大量得点し、点差をつける試合運びで勝ち進んできた花巻南高と不来方高が準決勝で対戦。不来方高は引き気味の DF から速攻の展開に持ち込み、攻め倦む花巻南高を序盤から引き離しにかかります。菅原絢香選手(花巻クラブジュニア→花巻中)が時折ミドルシュートを決めるも前半に開いた点差は埋まらず、不来方高が優勝に一歩近づきます。総合体育館アネックスでの決勝戦、不来方高はこの試合でも得意の速攻で得点を重ね、10 点差で前半を折り返します。盛岡三高はエースの岡田奈々選手が積極的にミドルシュートを狙いにいきますが、不来方の DF を崩せず、27-14 で全国上位を狙う岩手県女王に軍配。男子に続く、10 年連続優勝という記録を達成しました。なお、不来方エースの藤原千寛選手が最優秀選手に、花巻南高の佐々木志織 GK(ともに花巻クラブジュニア→花巻中)が優秀選手に選出されました。ちなみに、今回ベスト4 入りしたチームは、6 月 23~24 日、花巻市総合体育館にて開催される東北高校選手権大会への出場権を得ています。花巻南高は男女揃っての東北大会出場！東北大会でも上位入賞を目指して、また3 週間練習に励んで欲しいと思います。岩手県勢の活躍を期待しています！

### 3

## 小学生ハンドボール教室で花巻が熱い！！

6 月 12 日から、花巻市体育協会及び花巻市ハンドボール主催による小学生ハンドボール教室がスタートしました。前号でもご案内したとおり、花巻市総合体育館にて、全 5 回シリーズにて行われます。すっかり恒例行事となった本教室ですが、嬉しいことに毎回参加者が増加します。特に今回は、大迫の亀ヶ森小学校からも参加希望者があり、合併前の旧花巻市エリアのみでなく、石鳥谷町、東和町、そして大迫町にも徐々にハンドボールの輪が広がりつつあることを感じさせてくれます。特に大迫町は、かつて大迫高が強豪だった時期もあり、もともとハンドボールの



基盤を持っている地域です。今後もエリア拡大、参加者増が見込まれるといいですね！また、今年度から富士大学に入学した元全日本女子キャプテン佐久川ひとみさんが、富士大学ハンドボール部の学生を連れて、指導スタッフに加わっていただきました。自身も小学4年生からハンドボールを始め、「パスやシュートなどの基本練習をたくさんやった」と仰っていました。初日となった6月12日は、少年団に加入していない小学生が30名ほど参加しました。はじめてハンドボールに触れる子どもたちも、たくさん汗をかきながら一生懸命ボールを追いかけました。

